

東北福祉大学
学長 千葉 公慈 殿

東北福祉大学 内部監査室

佐藤 克文
菅原 隆志

令和3年度 科学研究費関係監査実施報告

文部科学省および日本学術振興会にかかる令和3年度 科学研究費関係監査の実施結果について、以下のとおり報告します。

1. 実施日 令和4年10月11日(火) 14時30分～16時00分
令和4年11月7日(月) 10時45分～11時15分※
2. 場所 管理棟2階会議室
3. 監査対象 特別監査 五十嵐 守 准教授
通常監査 村上 由則 教授
品田 誠司 准教授
矢吹 知之 准教授
(無作為抽出による)
4. 監査・立会 監査人 佐藤 克文 管財課長
菅原 隆志 総務課主任
立会人 本間 雅人 (公的研究費取扱い経験者)
高橋 政行 研究企画推進課課長
永浦 和也 研究企画推進課課員
菅澤 弘幸 財務課係長※

5. 監査結果

- (1) 関係書類等の整備はおおむね正確かつ適正であった。
- (2) 銀行通帳の明細と帳簿類の不突合は見当たらなかった。
※11月7日に財務課菅澤係長立会の下、確認作業を実施
- (3) 研究費の支出状況等に関する所見は下記のとおりである。

6. 所見

<全 体>

- 新型コロナウイルスの影響なども考えられるが、予算執行率が低いケースがみられるため、計画的な予算執行が望ましい。
- 謝品、謝金などについて、その妥当性の確認や対象者および受領確認を引続き確実にを行う必要性を確認した。

以 上

別紙

所見（6.）についての補足事項

- ①「○新型コロナウイルスの影響なども考えられるが、予算執行率が低いケースがみられるため、計画的な予算執行が望ましい。」について
 - 2件について、令和2年度時点での予算執行率が30%を下回るものがあったが、1件については令和5年度までの研究であり最終年度に予算執行が集中することがないように、計画的な執行が望まれる点を指摘。また、1件については最終年度であったが、新型コロナウイルスの影響により計画的に執行を抑制し、研究期間の延長も検討中である旨確認した。

- ②「謝品、謝金などについて、その妥当性の確認や対象者および受領確認を引続き確実に行う必要性を確認した。」について
 - 謝品（クオカード、ギフトカード）および謝金の支払いについて、対象者と金額の妥当性を確認した。また受領確認についても確認。今後の執行についても、上記の点が不明瞭になることがないように、引続き厳正な運用が求められる。

以上